

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ほしのごキッズ		2025 年 12 月 25 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	児童発達支援の授業所は児童一人当たり約3㎡と定められており、東京都が定める基準以上を満たしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	職員は3名～4名で対応しており、1人1人の児童を手厚く見ることができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	マットを敷くことで、児童が運動するスペースを認識しやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日、消毒・清掃を行っています。危険物などは児童が触れられない場所で保管するなどし、児童が安全に過ごせる空間を作っています。	掲示物など、児童への視覚補助をより取り入れ、各児童が過ごしやすい環境を整えます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	相談室、模擬授業の部屋は、着替えや学習など個別の用途に応じて使用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎朝、職員が全員参加する形でミーティングを実施しています。時間がかかる業務については改善できるよう、進め方や取り組み方を確認し改めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎年1回実施し、回答を職員間で共有し改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝のミーティングに加え、療育後は振り返り・共有の場を設け、職員同士で意見を交わし合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	第三者評価を導入していない分、他教室の職員を外部の目として活用し、アドバイスや助言などをいただいています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修に行った職員が、全体ミーティングで共有することで、研修で得た知識を広く職員へ周知すると共に議事録として記録を残しています。また、法人内での研修や会議を月に一回実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	5領域に則ったプログラムを作成し、当社のホームページで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	半年を目安にモニタリングを実施し、ご家族の要望を聴き取りながら、アセスメントの更新や個別支援計画の新規作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	担当者会議に職員全員が参加することで、さまざまな職員の視点・意見が反映される形をとっています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	HUGを活用することで、職員が全員個別支援計画をいつでも確認し、サービス提供記録を書く際にも反映できる体制を整えています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	5領域に基づいたアセスメントシートを活用しています。また、各項目を5段階で評価することによって、どの領域が適応でき、どの領域で困り感が強いかを視覚的に判断しやすくなっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインに従い、必要な項目が含まれた個別支援計画を作成しています。園を訪問した際は、園で聴き取った内容を反映しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	祝日などにイベントを実施する際は、児童が安全に参加できるよう全員で確認・共有する時間を設けています。日々行っている運動療育については、職員が各自で立案した内容を実施している為、改善点などあった場合は職員間で声をかけあい、その場で適宜修正しています。	知識の共有という観点も踏まえ、日々の運動療育についても、チームで立案する機会を設けてみます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	運動療育については、目標は同じであっても、実施する内容を変えることでさまざまな遊びを提供することに繋がっています。また、多くの体験が得られるよう、季節に合わせた制作活動や調理活動、戸外活動など広く取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	基本的に集団療育がメインではありますが、児童の実態に合わせて個別や小グループで対応したり、個別の療育内容を計画したりすることもあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	模擬授業、静かな活動の職員担当は必ず毎日決め、各々の職員のその日の役割を明確にしながら対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	毎日療育後に振り返りを行い、各職員が気づいたことや悩んだこと、保護者からの要望や意見を共有し、検討する機会を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	サービス提供記録、業務日報を毎日書くことで、個々の支援、全体の支援が適切だったかどうか、振り返っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に一回を目安に、保護者の方にご協力いただきながらモニタリングを実施しています。日程の調整にご協力いただき、ありがとうございます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	管理者、専門支援職員、日々携わっている指導員が適材適所で参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	主に、病院、幼稚園、保育園、小学校、こども家庭相談センターなどと連携しています。幼稚園や保育園への見学・訪問は保護者の要望に応じて実施させていただいております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	園訪問で今後の支援方法について共有し、個別支援計画にも内容を反映させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	就学先の小学校へ児童への適切な対応方法が伝わるよう、就学支援シートの作成を毎年受け付けています。また、放課後デイの姉妹教室がある為、引継ぎや情報共有を行っています。	就学先の小学校と当事業所が直接やり取りする機会はほとんど設けられていませんが、姉妹教室である放デイと小学校との連携は適宜行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	大田区が開催しているネットワーク会議に参加し、他事業所と交流し連携する機会を得ています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	夏祭りやクリスマスコンサートを地域の学校をお借りして開催することで、地域の児童とも交流する機会を提供しています。	公園遊びを通じて、地域児童と遊び場を共有し偶発的な交流に繋がることはあるものの、主体的な交流は設けていません。今後、必要に応じて実施することも検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎日療育後に、当日の児童の様子について職員から保護者へのフィードバックを実施しています。お仕事やご家庭の都合でお話する時間を確保することが難しい場合は、HUGのサービス提供を呼んでいただき、コメントできるシステムを活用していただいています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	保護者会、グループ相談支援を実施し、児童への関わり方について保護者が学べる機会を設けたり、個別の相談支援も承っています。また、年長児は宿題の練習に取り組む中で、「宿題相談シート」を保護者の方へ配布し、宿題に関する悩みについて適宜アドバイスを伝えさせていただいております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明させていただいております。わからないことなどありましたら、管理者や職員までお気軽にお申し付けください。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	モニタリング時に、児童の意見や主張を保護者へ確認しています。また、職員が直接児童へ「事業所でやってみたいこと」を確認する機会も設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	1	療育後のフィードバックの時間に説明し、必ず内容を読んでいただいてから同意を得る形を取っています。サインが漏れている方にはあらかじめ職員から声をかけさせていただきますので、適切な運営について、ご協力よろしく願いたします。	丁寧に1つ1つの課題の意図について説明する時間は設けられていない為、更新時に確認していただく形をとらせていただきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	その場で聴き取りが行えそうな相談は当日に行い、重大な相談については別日に時間を設け、相談支援を実施させていただいております。また、アドバイスして終わりではなく、予後について確認する声掛けを心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者会、夏祭り、クリスマスコンサート、ドッジボール大会など、保護者や兄弟が交流できる機会をさまざま実施させていただいております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	保護者の方から相談の要望があった際は日程を調整し、できるだけ早急に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎週SNS (Instagram、Facebook) で療育の様子を公開しています。また、スムーズに閲覧できるよう、QRコードを契約時にお渡ししています。イベントを実施した際は、HUGで記事を公開することもあります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	鍵付き書庫で各書類を保管しています。SNSに写真を投稿する際、顔や名前が映らないよう加工しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	児童とコミュニケーションが取れるよう、選択肢の提示、イラストを使用した視覚補助の導入、ボディランゲージなど臨機応変に対応しています。また、電話やHUGのメッセージなど、保護者の方が使いやすいツールを選択できる体制も整えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	夏祭りやクリスマスコンサートには地域の方々にも参加していただいております。また、身分確認などを行うことで安全にイベントを実施できるよう留意しています。	
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを策定し、漏れないよう姉妹教室と確認を行いながら訓練を実施しています。	マニュアルの存在自体は契約時に説明していますが、実物を見ていただくなどし、明確に周知していきます。
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	策定し、今年度の訓練も実施済みです。電話やメッセージでの避難完了・引き渡しの連絡にご協力いただき、ありがとうございました。	マチコミに登録できていない方へのフォローアップ (登録介助) を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	アセスメントシートに全児童記載していただいております。また、更新が無いかもモニタリングの際に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	現在食物アレルギーで個別対応が必要な児童は在籍していませんが、アレルギー一覧表を作成し必要な対応を職員に周知できる体制を整えています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	利用者が安心して通所できるよう、作成し、研修や訓練も実施しています。	

時 等 の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		「安全計画」に基づいて実施しているかどうかまで、明確に周知していません。訓練を実施した際は安全計画に基づいた実施であることをお伝えします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事故や怪我が発生した場合、当該職員がヒヤリハットを記入し、他職員へ共有する流れを作っています。さらに、再発防止に向け、対策がうまくいっているかどうか時間を空けて確認を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	代表職員が外部の虐待防止研修を受講し、事業所内で共有する機会を設けています。また、各職員の支援の引き出しが広がるよう、専門的な知識についての研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	契約時に身体拘束を行う場合があることを説明し、同意書もいただいています。職員独自の判断で身体拘束を行わないよう、どのような場面・方法・時間で身体拘束を行うか議題に取り上げ、職員間で共通認識を持って対応しています。	